



お たり
小谷村環境保全組合
(長野県 北安曇郡小谷村)



組織の概要

北アルプスの白馬乗鞍岳の麓、標高600～800mに位置し、扇状地形の農地と姫川を挟んだ点在農地を含む典型的な山間農業地域である。

令和3年度に村内にある8集落のうち7集落で組織の広域化を図り広域組織を設立しました。

「棚田オーナー制度」を活用し、棚田の保全を図っているほか、「おたりの棚田めぐり」などの体験ツアーを企画し都市農村交流を推進している。

取組面積 100.1ha (田：96.0ha 旗か：4.1ha)



地域資源保全活動

○村全体で共同活動に取り組むといった意識が根付いており、年12回程度総出で、農道や農地周り、水路の草刈り作業を実施している。(毎回約200人参加)。



草刈り作業



泥上げ作業

農村環境保全活動

○村内の5箇所で季節ごとにひまわりやコスモス等の植栽を行っている。

○農作業路は、村内観光エリア間のアクセス路にもなっており、植栽を通して良質な里山景観の提供も担っている。



農道沿いの植栽



農道沿いの植栽

大学連携と都市農村交流

○東京農業大学の研究フィールドとなっており、ホタルの保全活動やビオトープの設置など協力して設置及び維持管理をしている。

○棚田オーナー制度により棚田の維持管理を行うとともに、農業体験や「おたり棚田めぐり」といった体験ツアーを実施し、都市農村交流をすすめている。



大学と連携したホタル公園の整備



大学と連携したビオトープの整備



棚田オーナーによる稲刈り



雪中キャベツ収穫ツアー

施設の維持管理活動

○農道の砂利敷きやコンクリート舗装については、地元の直営施工で実施している。



農道の砂利敷



農道舗装

取組の成果

○村全体で取組意識が高く保全活動には多くの参加者がある。

○棚田オーナー制度や農福連携など様々な取組により農地の保全に貢献している。

○棚田オーナー制度や大学との連携、体験ツアーの実施など積極的に都市農村交流を推進している。